



2021年2月26日を以てINTER BEE 2020 ONLINEは終了いたしました。視聴回数が多かった人気のあったセッションのうち、上位10を下記にて紹介致します。(尚、下記はInterBEE ONLINE開期中のWEBでの掲載表記をそのまま使用しておりますのでご了承下さい。)

【第1位】5周年を迎えた民放公式テレビポータル「TVer」の未来：サービス開始5周年を迎えたTVer。7月には在京キー5局が増資し、社名も変更して、株式会社TVerとして新たなスタート切った。当初50番組でのサービスも、300番組を超える番組が毎週更新されている。2019年にはテレビ受像機向けのサービスも始まり、順調にユーザ数を伸ばしている。10月には日本テレビによる同時配信のトライアルも始まった。7月新体制の狙い、今後のTVerについて、展望を語ります。

【第2位】IPネットワークの基礎：日本国内においても、IP制作システムの導入が進んでいる。そのIP制作システムを理解する上で避けては通れないIP技術。本セッションでは、SDIとの比較やVideo over IPの特徴を交えながら、IPの基礎について解説する。

【第3位】デジタルへ舵を切れ！異業種に学ぶビジネスモデル革命：テレビ局はキー局ローカル局を問わず企業の広告出稿の大幅減少で最大の危機を迎えています。前々から言われていたネットへの展開、ビジネスモデルの大転換が必須です。そこでこのセッションでは、新聞・雑誌のDX事例に学びます。デジタル展開で先行する紙メディアの変革を具体的に解説いただき、放送業界のみなさんに吸収してもらいます。

【第4位】同時配信時代のローカル局の挑戦：

今春のNHKに続き10月、日本テレビがプライムタイム+深夜1段目の「地上波放送同時配信」をスタートさせることになった。ここ数年論点となってきた「エリア制御」は行わない。他のキー局も同様に準備が進んでいると聞く。こうした状況はローカル局にとってピンチととらえる向きも強いが、自局の放送エリアを越え、全国に視野を広げてマネタイズを模索するチャンスと捉え、各種ネットサービスを模索する局も少なくない。地域における存在意義は高められているか？マネタイズはできているか？本セッションでは、実際にプロジェクトを動かす各局のキーマンたちの本音に迫る。

【第5位】IPセッション2020：コロナ対応から次世代の方粗衣技術を見通す：ネットサービスの進展とともに様々な分野でIP（インターネットプロトコル）の採用が進んでいる。放送分野においても、制作現場から放送サービスまで様々な場面でIPの利用が検討されている。本講演では、番組制作におけるIPリモートプロダクション、IP化を実現する地上放送高度化の取組みや将来展望について紹介する。

【第6位】同時配信とその先の課題～コロナ禍で潮目が見えてきた23時台をだれが押さえるのか：コロナ禍に伴い、在宅/リモート勤務、休校/リモート授業など、在宅時間が例年より圧倒的に増えた。そのことが、生活行動やその一部であるテレビ視聴にどのような変化をもたらしたのか？日中の帯番組の視聴率の増大ではなく、若年層の23時台を含めた深夜帯の生活行動に注目して、今後の課題を探る。最新の調査による放送同時配信に関する知見と、その先にあるカジャール視聴（二つの中心を持つ楕円モデル）の可能

性などを織り交ぜながら、進行する。

【第7位】Inter BEE 2020 Opening: 放送開始から95年～ネット配信とどう向き合うか～：ラジオ放送から始まり今年で95年。放送は通信、ネット配信とこれからどう向き合っていくか。展望について語ります。

【第8位】IPTVフォーラム企画：ニューノーマル時代の放送とネット連携

第1部：基調講演「放送・通信連携の現状と今後」  
第2部：基調講演「DX時代の放送とネットワークの役割と責任」

第3部：報告「放送とネット連携国内外の動向」

【第9位】どこでもリモート<IP>制作の現場から：コロナ感染対策が求められる制作現場で注目されている「リモート・プロダクション」離れた場所からIPネットワーク回線経由で機材を操作し、ライブ番組を送出する新しい手法をデモ提示する。IPネットワーク回線と経由して各制作機材もIP技術で連携する。その準備からセットアップ、本番のオペレーションという一連の流れを機材各社の担当が説明。また、トラブル対応も紹介し、ここでも各社機材の連携ぶりを紹介する。

【第10位】CONNECTED 延長戦・激論！テレビは一周回ったか？：「INTER BEE CONNECTED 2020 企画セッション」の延長戦として、(株)電通 奥津氏氏が前々から唱えていた「一周回ってテレビ論」が2020年は形になった感がある。そんな中でテレビメディアはどう動くべきなのか、そもそも今から動いて間に合うのか。奥氏とCONNECTED ボードメンバー塚本幹夫氏との座談会を境治氏のモデレートでお送りします！

## MOGAMI LAN CABLE

### モガミイーサネットケーブル 施工工事用 LANケーブル

施工工事時に有刺鉄線のようにならず楽に配線出来るよう、平らにまっすぐ収まるように設計された LAN CABLEです。UL VW-1 難燃規格にも適合しており、標準で3色(青・灰・黄)用意しました。また、平均的な減衰測定値から90m前後まではTIA/EIA-568B Cat-5e 規格値を満たしますので、両端に接続される機器の電気的性能によりそれ以上の長さで使用出来る場合や、逆にそれ以下の利用長に制限される場合がありますので、際どい場合には利用前に実地確認する必要があります。3381タイプは3367同様柔軟で、イベント設営等に適するようケーブル中心に介在系を入れて引っ張り強度を約30%上げてあります。ジャケット色は黒のみです。

**Part No.**  
**3367**  
**3381**

**お問い合わせ**

モガミ電線株式会社 PHONE: (0263) 52 0131 E-MAIL: sales@mogami-wire.co.jp URL: <http://www.mogami-wire.co.jp>

**MOGAMI**

**(株) IMAGICA Lab.**

## ICT/ クロスメディア部門

**■映像コンテンツ管理サービス「TASKEE(タスキー)」**

配信事業者へコンテンツを納品する場合、煩雑な作業を伴うことも多く、現状担当者が多くの時間を割いている。TASKEEはマスターコンテンツ管理から、配信向け編集、QC、納品までをオールクラウドで実現するワークフローを構築できるため、担当者の業務を劇的に改善する。

TASKEEは「映像コンテンツの管理、デリバリーをもっと簡単に」をコンセプトとする、「映像コンテンツ管理サービス」。クラウドを活用し、円滑な制作進行、安全な素材/マスター管理、効率の良い二次利用を促進。映像コンテンツをクラウドに保管し、「カスタムフィールド」という自由に設定できるメタデータ項目を使用し、コンテンツと共にメタデータも効率的に管理。また管理されているコンテンツに対して、「フォーマット変換」や「クラウド編集」を利用して納品用のファイルを作成することも可能である。全てのファイルはダウンロードすることなく、TASKEEでオールクラウドフローを構築し、映像コンテンツ管理の完全リモート化を実現できる。管理されているコンテンツや作成された納品用ファイルに対して、「クラウドQC(品質管理)」や「クラウド納品」できる機能を紹介する資料を用意している。

<https://www.taskee.jp/>

**■AI自動文字起こしサービス「TRASC(トラスク)」**

Webブラウザからアップロードした動画を



そのまま解析し、プレビューを確認しながら解析結果を編集出来る。クレジットカード決済に対応し、簡単に利用可能。さらに自動翻訳・多言語解析に対応し、音声文字起こしに加え翻訳作業も自動化する。

「TRASC(トラスク)」は、収録済みの映像素材の音声トラックや音声ファイルを日本語のテキストファイルとして自動で「文字起こし」するサービス。

高い日本語認識率と、収録時間の約半分の時間でAI解析のテキストを出力する高速処理により、時間と労力がかかりがちな文字起こし作業を短縮化する。

Webブラウザから動画をアップロードしそのまま解析し、プレビューを確認しながら解析結果を編集することができる。

料金体系は解析したファイルの収録時間に応じた従量課金制であり、初期費用・月額固定費用は発生しない。クレジットカード決済に対応しており、必要な時にいつでも簡単に利用が可能である。

また、新たに文字起こしした言語をAIを使って多言語に翻訳できるようになった。多言語翻訳を利用することにより、日本語で話された内容にを海外の方々と言語の壁を超えたコラボレーションが可能になる。

只今翻訳機能を無料でお試しいただけるキャンペーンを実施中。

<https://www.trasc.jp/>

**■カタチスペース**

実際の商品をCGコンテンツ化し、実寸大でAR表示・共有ができるスマートフォン向けサービス。専用アプリやマーカーの準備は不要で、ウェブサイトへの埋込やQRコードでの拡散が出来るため、営業ツールやイベント集客、ECサイトへの掲載のほかSNSでの拡散など幅広いシーンで活用できる。

カタチスペースは専用アプリやマーカーが不要のWebARサービス。WebARは手軽に、商品のリアルな疑似体験ができるため今とても注目を集めている。従来の写真や動画、寸法の

記載による商品や造形物の紹介と比べて、そのままの「カタチ」を体験できるWebARはユーザーの関心を惹き、購買における不安を解消する。

カタチスペースでは、ユーザーはスマホでURLを読み込むだけで、その場で立体的な形状や素材の質感、大きさ、実際に手元に置いたイメージを体験することができる。

「カタチ」データ1つで、イベントでのリアルな映像体験や、ECサイトのCV率向上に繋がる。また、商品をデータとして持ち運べるので、デモ機やサンプルの持ち運びは不要になり、営業ツールとしての活用など、利用シーンは多岐に亘ります。

CADデータ又は3Dスキャンによる商品のARコンテンツの制作からサーバー運用までワンストップでサービスを提供しますので、ご担当様に専門知識がなくても負担なくスムーズな導入を実現する。

**■マイグレーションロボット**

放送事業者、映像事業者が保有している膨大な数量のビデオテープを一括して次世代フォーマットへ移行する大規模変換作業を承っています。お客様のアーカイブ戦略に合わせてカスタム設計されるロボットラインが24時間フル稼働。数十万巻におよぶ規模のミッションにも圧倒的な作業効率と最高のクオリティでお応えします。

①不可能とも思える数量のテープ資産の移行をIMAGICA Lab.は可能にします。産業用ロボットを採用したローダーシステムは機器の台数、積載テープ数を最適に調整可能。最短期間、最小コストでの変換を実現します。

②精密な動作と高い自由度を持つロボットアームはあらゆるメディアに対応できます。現行のビデオテープはもとより、D-2 ラージカセットからmicroSDカードに至るまでどのような入出力メディアの組み合わせもオートメーション化します。

③全てを自社開発したシステムはカスタマイズ性に優れ、お客様のご要望に柔軟にお応えします。

さらにIMAGICA Lab.が提供する各種サービスともシームレスに連携、理想的なワークフローを自在に構成いたします。

<https://www.imagicalab.co.jp/business/archiving/>







## ■ブロードキャストコントローラー 放送制御 &監視システム「EVS CEREBRUM」

Cerebrum は、放送業界内外の幅広いメーカーの製品を設定、制御、監視するための包括的な機能を提供するソフトウェアベースの製品。Cerebrum の画面で一括管理するため色々な放送機器をコントロールできるようになる。小規模・大規模であろうとSDI、IPであろうとセットアップを選びません。

**主な特長**：デバイス制御・監視…他メーカー機材もまとめて一元管理。各種機能（ルータ制御・タリー・UMD）…中継車、スタジオ等アプリケーションを選びません。安定性…ライブプロダクションに耐え得る堅牢性。シングルユーザーインターフェース…オペレーションコスト削減。180 以上のプロトコルに対応…プロトコルに紐づいたライセンスモデル（180+）。IP ルーター（IP ストリーム）の管理/ 監視 今後対応予定…IP インフラの管理・SDN 対応予定。

## ■ IP プロセッシングプラットフォーム「EVS NEURON」

NeuronはIPベースのオーディオ・ビデオプロセッサで多種多様な変換機能を提供するネットワークベースの製品。IPにおけるあらゆる音声ワークフローへの対応、フレーム同期、アップ/ダウンコンバージョン、カラーコレクション、HDR変換、音声エンベデッド・ディエンベ処理、音声シャッフルリング等。SDIとIPの間の変換を行なうことも可能。

**主な特長**：ベースバンドからIP(ST2022/ST2110/JPEG XS)への変換…業界最上位のパフォーマンス(32HD 8UHD@1RU)。IPからベースバンド(SDI/AES)への変換…多様な変換処理に対応。マルチビューアー…IP/IP・SDIハイブリッドセットアップに対応。アップ/ダウン/クロスコンバート機能…最適なオペレーションコスト。ライブプロダクションのミキシング…シンプル且つ直観的な操作性。

■ Avid ■

■完全仮想プロダクション環境をクラウドで  
提供、どこでも編集作業が可能  
「Avid Edit on Demand」

Edit On Demand は、クラウド用に最適化されたノンリニア編集ソフトウェアのMedia



Composer とメディア・ストレージNEXIS  
を備えた、完全な仮想プロダクション環境を  
Microsoft Azure で提供します。ノートパソコン  
とインターネットさえあれば、社内チーム、  
リモートエディター、フリーランサーは、新しい  
ソフトウェアやワークフローを習得すること  
なく、制作時間を短縮することが可能です。  
全てのクラウド上に保存されるアセットと高  
速転送ソフトウェアFileCatalyst は、最大限  
のセキュリティを確保するために暗号化し保  
護されています。

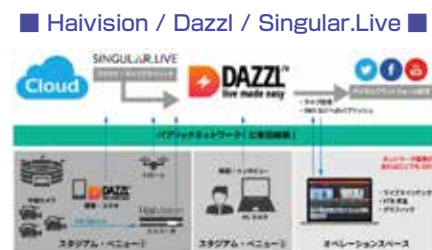
また、不正アクセスから更にメディアを保護するために、アクセス制限をして通信を保護することで安全にメディアを共有および保存することが可能となります。最高30 台の Media Composer の同時接続と200TB のNEXIS Cloud Space を提供します。

■ポストプロダクション・放送局・教育機関・企業向けのリアルタイム・メディア制作を実現するストレージ・システム「Avid NEXIS」

NEXIS は、あらゆるメディア・アプリケーションに対応し、ニーズに合わせたストレージ提供を可能にするメディア制作向けのソフトウェア定義ストレージ・プラットフォームです。放送、制作、ポストプロダクション、オーディオ、教育、企業環境における制作を効率化し、高い拡張性と信頼性を提供します。

新しいクラウドストレージ・サービスオプションのNEXIS|Cloudspaces では、NEXIS ストレージを瞬時にクラウドに拡張することで、安全にプロジェクトを保管し、メディアのバックアップを取ることができ、外出先であってもコントロールできる柔軟なシステム管理を提供します。ワークフローに合わせて9.6TB から最大6.4PB までシステム規模を拡張し、4K/UHD やフィニッシング・ワークフロー には、帯域幅を最大25 GB/s 以上にまで拡張することが可能です。

NEXIS | FS ファイルシステムによりシステムへのアクセス、システムの拡張、カスタマイズ、構成、管理、保護及び保全が可能となります。Media Composer、Pro Tools、Media Central などAvid 製品に加えサードパーティ制作ツールもサポートします。



## ■ Haivision Makito X4, Haivision Hub

高品質ビデオ映像 /SRT ストリーミング /  
UHD・HD マルチチャンネル伝送を実現する  
エンコーダ / デコーダを提供します。

高いセキュリティ、低遅延エンコード (HEVC,  
H264)、高品質なビデオ映像、SRT ストリー  
ミング、マルチチャンネル伝送を提供します。  
Haivision Hub はクラウドをベースとした  
SRT ストリーミングのルーティングが可能です。  
国内、国外への映像伝送を実現します。

**Dazzl**

DAZZL は、モバイルデバイスなど最小限の  
機材とパブリックネットワークだけでライブ  
制作と配信が可能なクラウドベースのビデオ  
制作スイートです。リモートプロダクション、  
リモートワークに最適化しています。

ビュークラウドの制作環境で、必要な映像を  
ストリーミングデータとしてクラウドにアッ  
プロードするだけでクラウドスイッチング、  
グラフィックのオーバーレイ制作が可能です。  
ストリーミングは無料の DAZZL App から、  
または汎用的なエンコーダを利用することも  
可能です。SRT インジェスト (2020 年内対  
応予定) で、パブリックネットワークを利用  
する場合でもセキュアかつ低遅延な映像を利  
用できます。アップロードされたデータはク  
ラウドストレージ上に収録され、後編集用に  
ローカル PC にダウンロードできます。

■ Singular.Live

Singular は HTML5 をベースとしたクラウドリアルタイムグラフィックサービスです。

1 日単位で使うことができ、オンプレ機材を最小限にした CG/ テロップを HTML5/ NDI/SDI で提供することが可能です。

ご利用シーンに応じた出力をご提供できるため、配信コンテンツ上でのリアルタイムグラフィックにも、放送コンテンツ向けの SDI 環境にも、eSports やイベントに向けた NDI ネットワーク制作環境にもフィットします。

フォトロンでは設計、デザイン、オペレーションフォローまでのすべてのプロダクションワークフローをサポートします。

## (株) フォトロン

映像制作 / 放送関連機材部門

### ■ クラウド制作フロー支援サービス 「Pharos(ファロス)」■



#### ■ 映像制作・管理・流通のクラウド活用をアシスト「Pharos(ファロス)」

クラウド基盤を活用した制作フロー支援サービス「Pharos」(ファロス)を2020年11月より開始しました。

クラウド環境の利用により、拠点の概念から解放され、物理的な移動の伴わないコラボレーション型の映像制作が行われます。そうした環境においてタイムリーに素材を共有できるだけでなくメタデータをしっかり管理する完成原稿の預かりまで、様々な用途に対応します。

また複数のクラウド環境が横断して利用され、相互に大容量のファイルが往来する今後のクラウドフローに対応し、ワークフローの自動化を実現するオプションサービス「Photron Media Automata (フォトロン メディア オートマタ) ※ サービス提供予定」とのシームレスな連携により機能を拡張させることができます。

Pharos はご導入に際してクラウド環境をセットアップ済みで提供し、クラウドサービスに関する知識が必要なくすぐにご利用いただけます。さらに 24 時間 365 日の監視も行い、障害時の復旧にも対応し、システム維持に伴う技術要員が不要で運用が行えます。

### ■ HARBOR / C.M.HARBOR ■

#### ■ HARBOR

2012 年のサービス開始より 8 年を迎える「HARBOR」は、撮影スタジオ様、アニメ・映画・CM の制作・編集企業様、放送局様・VOD・OTT 事業者様など、ありとあらゆる映像制作に関わるお客様のインフラと、撮影



から編集、編集からファイル納品、そして二次配信まですべての映像制作ワークフローをつなぐプラットフォームです。

#### ■ C.M.HARBOR

オンラインでのテレビ CM 素材の登録・オンライン認証を「かんたん」かつ「安心・安全」に行えるように対応した「C.M.HARBOR」は、テレビ CM 制作を担うすべての企業様・広告会社様・制作会社様の制作から納品までの管理作業をトータルサポート、100 社以上ご利用いただいております。トライアル用のデモサイトもご用意があります。

## イノテック (株)

ICT / クロスメディア部門

### ■ オンラインビデオのBI分析プラットフォーム 「YOUBORA Suite」■



動画配信サービスにおける視聴者の体感品質をリアルタイムに可視化できるNPAW社のBIプラットフォーム YOUBORA Suite。

放送局、OTT プロバイダー、通信事業者、メディアカンパニーに、最も先進的で統合的なリアルタイムビデオ解析とビジネスインテリジェンスを提供するクラウドサービスです。事業者の動画配信サービス全体のパフォーマンスをあらゆる面から最適化し、視聴者の満足度の向上と収益の最大化を図るための迅速なビジネス、オペレーション、テクニカル面でのデータドリブンの決定を後押しします。

YOUBORA Suite は、ベースとなる動画配信サービス分析のAnalytics、マルチCDN 環境を最適化するCDN Balancer、動画配信の

広告を分析するAds、視聴ユーザ行動分析のUsers で構成されます。

YOUBORA Suite は、視聴デバイスの動画プレーヤーにプラグインと呼ばれる小さなコードを埋め込むことで、視聴デバイスでの動画再生に関するイベント(スタート、ストップ、レジューム、エラー等)やメタデータ(動画タイトル、CDN、ユーザID等)を、クラウド側で収集/分析して、視聴デバイスで何が起こっているのかをWeb UI でグラフィカルにわかりやすく表示します。

YOUBORA Suite は、動画再生に関する情報だけでなく、動画配信Web ページでのユーザの行動(動画再生状況、どのページが多く見られているか、コンテンツを購入したタイミング等)も確認することができます。

### ■ Live & VoDの配信監視ソリューション

#### 「ORION Suite」■



#### ■ ORION | リニア / IP ビデオの24x7 の信頼性モニタリング

ORION は、サービスプロバイダーがエラーの

ない高品質のビデオを配信できるようにするリアルタイムのコンテンツ監視システムです。ORION は、QoS、QoE、クローズドキャプション、広告挿入の検証、レポート、トラブルシューティングなど、ビデオストリームのすべての側面を調べるIP ベースのインフラストラクチャのリアルタイム監視を提供します。ORION は、単一のプラットフォームから数百のサービスに対して同時に重要な監視機能を実行し、オペレーターに、ステータス、アラート、アラーム、目に見える障害、エラーレポート、トリガーされたキャプチャなどの重要な情報への単一の可視性とアクセスを提供します。ORION は、地理的に異なる場所にある単一から複数の監視ユニット/サイトにスケーリングするストリーミングコンテンツを簡単に監視します。ORION は、業界で実証済みのオーディオ/ビデオ品質チェックに基づいて構築されており、実用的なアラームを生成します。

すべてのデータをリアルタイムで表示したり、ORION にログインして、FCC クローズドキャプション要件やCALM / EBU ラウドネスなどの特定の規制基準に合わせてカスタマイズされたレポートでパフォーマンス分析を行うことができます。ORION は、4K HEVC と仮想化モニタリングプローブをサポートするこ



## イノテック(株)

## ICT/ クロスメディア部門

とで、将来のネットワークに対応できるようになりました。

■ **ORION-OTT! ABR ストリームの品質保証** :  
Interra Systems のORION-OTT は、クラウドまたはオンプレミスでのLIVE サービスとVOD 資産の包括的な監視ソリューションです。QoS とQoE の両方を監視するためのABR ビデオを検証するための高性能でスケーラブルなソリューションを提供します。ORION-OTT は、オリジンサーバーのパフォーマンスとエンドユーザーデバイスのパッシブモニタリングも提供し、再発する問題とその原因を理解します。ORION-OTT の直感的なユーザーインターフェースは、資産の監視結果を効果的に表示します。監視の実行をドリルダウンして、アセット内の最も重要な問題、それらの場所と発生、および問題をデバッグするためのより多くのコンテキスト情報を特定できます。ORION-OTT のWeb ベースのインターフェースにより、ブラウザ対応デバイスを介したリモートモニタリングが可能になり、ユーザーは指先で包括的なモニタリングおよびレポートツールを利用できます。

## ■ マルチメディアAI・機械学習ソリューション ■



■ **BATON CAPTIONS ! キャプションワークフローの自動化** :BATON CAPTIONS は字幕生成からQC へのアドレスの要件、自動修正、レビュー、および編集に放送局やメディアの専門家が可能、ニーズをキャプションのすべての種類のための自動化ソリューションです。BATON CAPTIONS は、最先端の機械学習 (ML) と自動音声認識テクノロジーを活用して、従来のTV およびビデオストリーミングのキャプションの作成、管理、および配信にシンプルさとコスト削減をもたらします。

この高性能ソリューションを利用することで、メディア企業はライブコンテンツとVOD コンテンツの両方のキャプション作成と検証プロセスを劇的に促進し、コンテンツがOTT ビデオストリーム内で複数のビデオ品質レベルで配信される場合、キャプションが高品質を維持します。

■ **BATON LIPSYNC ! 自動オーディオビデオ同期検出** :BATON LIPSYNC は、リップ

シンクの検出と検証のための自動化ツールです。BATON LIPSYNC は、画像処理と機械学習 (ML) テクノロジー、およびディープニューラルネットワークを活用して、オーディオとビデオの同期エラーを自動的に検出します。BATON LIPSYNC を使用すると、放送局とサービスプロバイダーは、メディアコンテンツのオーディオのリードとラグの問題を正確に検出して、視聴者に優れた品質のエクスペリエンス (QoE) を提供できます。

BATON LIPSYNC アプリケーションは、顔検出、顔追跡、唇検出、唇活動検出、および音声識別を実行できます。同期エラーは、視覚化を向上させるために、同期していないオーディオおよびビデオエラーをスクリーンタイムラインにプロットする機能豊富なインターフェイスを介して、BATON Media Player (BMP) でさらにデバッグできます。エラーが検出された後、BATON LIPSYNC はすべてのLipSync 問題の包括的なレポートを提供します。

■ **WINNOW ! コンテンツ分類のための高度なプラットフォーム** :WINNOW は、視聴覚コンテンツをセマンティックコンセプトに分類するための強力なソフトウェアです。WINNOW は、さまざまな国、地域、組織の規制に従って、コンテンツ内の主要な要素を識別するために人工知能 (AI) および機械学習 (ML) テクノロジーを使用しています。WINNOW は、高度な分類機能を備えており、ルールベースのフレームワークを使用してコンテンツが自動的に分類されます。WINNOW は、ワークフローの効率を向上させるのに役立つ、広範で正確なコンテンツ管理機能を提供します。

## ■ ACCURATE VIDEO ウェブベースのビデオプラットフォーム ■



スウェーデンを拠点としたCodemille 社の「Accurate Video」は、放送局、ポストプロダクション、メディアプロフェッショナルのために開発されたウェブベースのビデオプラットフォームで、コンテンツの検証や編集にご活用頂けるクラウドのメディアサプライチェーンの製品スイートです。ウェブブラウザアプリの「Accurate Video」は、大切なコンテンツの安全性を確保しながら、リモート環境での共同作業のニーズに対するベストアンサーといえるでしょう。「Accurate Video」は、コンテンツ

の取得、品質管理、マーケティングを行う中で、貴社の既存のビデオプラットフォーム、アプリケーション、MAM にシームレスに統合することができます。最先端のAI/ML メタデータのエクストラクタを使って貴社のコンテンツをよりリッチなものにしてください。

「Accurate Video」スイートのソリューションは、ビジュアルQC、オーディオQC、正確な字幕QC、ポスタールーム、プロモクリエイタの製品群に分かれています。

■ **HTML5 ベースのフレーム「Accurate Player」** :Accurate Video スイート全てのコア、Codemille 社が作り上げた各ソリューションの心臓部に当たり、貴社にとってもそうなる可能性があります。その豊富な機能のAPI を通じてこの「Accurate Player」を実装してください。

■ **Visual QC (目視QC) とAudio QC (オーディオQC)** :豊富な機能セットを使ってブラウザから直接コンテンツを検証できます。Interra 社の「Baton」等の他社のQC レポートと連携させてコンテンツの全ての側面を検証することも可能です。

■ **Subtitle QC (字幕QC)** :「Subtitle QC」は、Accurate Player とAccurate Timelin とパワフルに連携して、字幕のインジェスト・編集・出力ができます。タイミング、言語、テンポをチェックしながら字幕のQC と編集が可能で、複数の字幕トラックを並行に表示して全てが揃っているか確認できます。

■ **Poster Room (ポスタールーム)** :「Poster Room」は、どこからでもブラウザで直接コンテンツの高解像度のポスターを作成できます。

■ **Promo Creator (プロモクリエイタ)** :「Promo Creator」は、ブラウザでフレーム精度のクリッピングをしてマーケティング用の宣材動画を作成できます。ビデオから一部分を切り出して、ブラウザで直接結果をプレビューできます。結果を貴社のワークフローに最適などんなトランスコードにも出力できます。

## ■ TEXEL Co-viewingsサービス

## 「Togetherness」■

パーソナリゼーションおよびソーシャルを組み合わせた次世代視聴エクスペリエンスを提供します。

ユーザが任意に選択した複数のストリーム、SNS、ビデオコールを同一画面上に配置することができます。また、ソーシャル機能から友達とパーソナライズされたストリームを同時視聴することが可能です。